

## 船舶事故調査報告書

平成24年9月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄司 邦昭

委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成23年10月18日 02時00分ごろ
発生場所	長崎県佐世保市佐世保港タタミバエの浅瀬 佐世保市所在の佐世保港弁天島灯台から真方位142°650m付近 (概位 北緯33°08.5′ 東経129°43.2′)
事故調査の経過	平成24年8月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第5 <sup>まんせい</sup> 満生丸、4.7トン NS3-502974（漁船登録番号）、個人所有 11.40m (Lr) × 2.54m × 0.88m、FRP ディーゼル機関、147.10kW、昭和61年7月8日
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成21年7月22日 免許証交付日 平成21年7月23日 (平成26年7月22日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	プロペラ等曲損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成23年10月17日23時58分ごろ、長崎県西海市御床島北西方沖において、貨物船と衝突事故を起こし、その後、海上保安庁の指示で衝突した貨物船に先導されて佐世保港へ向かった。 船長は、佐世保港内の <sup>いおり</sup> 庵崎沖を約3～5ノットの速力で航行中、来援した巡視艇から佐世保港前畑岸壁に着岸するように指示を受け、佐世保港入港の経験がなかったことから、巡視艇に先導されながら同岸壁に向けて北進していたところ、佐世保市 <sup>さきまへ</sup> 崎辺町西方沖で先導する巡視艇を見失い、海上保安庁へ電話連絡し、再度、巡視艇に先導されて前畑岸壁に向かった。 本船は、 <sup>えいのはな</sup> 鱒ノ鼻西方沖を通過した頃、船長が、先導する巡視艇を再度見失ったが、再び海上保安庁へ連絡することを申し訳なく思い、GPSプロッターで海上保安部庁舎を北北東方に確認し、同方向に黄色

	<p>い回転灯を点灯した船舶を視認したことから、それを巡視艇の回転灯と思い、右転して北北東進中、18日02時00分ごろタタミバエの浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船長が、巡視艇乗組員へ連絡し、来援した巡視艇のゴムボートに救助され、明朝の満潮時を待って船長が手配した船舶により引き下ろされた。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1～2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>
その他の事項	<p>船長は、鱶ノ鼻西方沖で巡視艇を再び見失ったとき、気が焦っており、GPSプロッターで海上保安庁庁舎の位置を確認しただけであり、周囲の状況を確認せず、目視で航行していた。</p> <p>船長は、回転灯を点灯している船舶に向けて航行しているとき、左舷船首方に佐世保港前畑沖灯浮標が存在したが、街灯の明るさに紛れて気付かなかった。</p> <p>巡視艇は、4人が乗り組み、各自周囲の見張りをを行いながら航行し、時折、レーダーや目視で本船の確認を行っていた。</p> <p>巡視艇は、崎辺町西方沖から本船を先導する際、鱶ノ鼻西方沖までは本船の横を伴走していたが、その後、航行区域が狭くなることから、先導することとなり、佐世保港前畑沖灯浮標を過ぎて前畑岸壁へ向けて右転するとき、本船との距離が約500mに開いていた。</p> <p>巡視艇乗組員と船長は、いつでも連絡が取れるよう、お互いに携帯電話番号を教えていた。</p> <p>巡視艇の回転灯は紅色であった。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、佐世保港鱶ノ鼻西方沖を巡視艇に先導されて北進中、船長が、先導する巡視艇を見失った際、GPSプロッターを活用して船位の確認を行わなかったことから、GPSプロッターで確認した海上保安庁庁舎のある北北東方に見えた回転灯を巡視艇の回転灯だと思い込み、右転してタタミバエの浅瀬に向かって航行し、同瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、夜間、本船が、佐世保港鱶ノ鼻西方沖を巡視艇に先導されて北進中、船長が、先導する巡視艇を見失った際、GPSプロッターを活用して船位の確認を行わなかったため、GPSプロッターで確認した海上保安庁庁舎のある北北東方に見えた回転灯を巡視艇の回転灯だと思い込み、右転してタタミバエの浅瀬に向かって航行し、同瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>

<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 不慣れな場所を航行する場合、利用できる手段を使用して慎重に周囲の状況を把握すること。</li></ul>
-----------	--